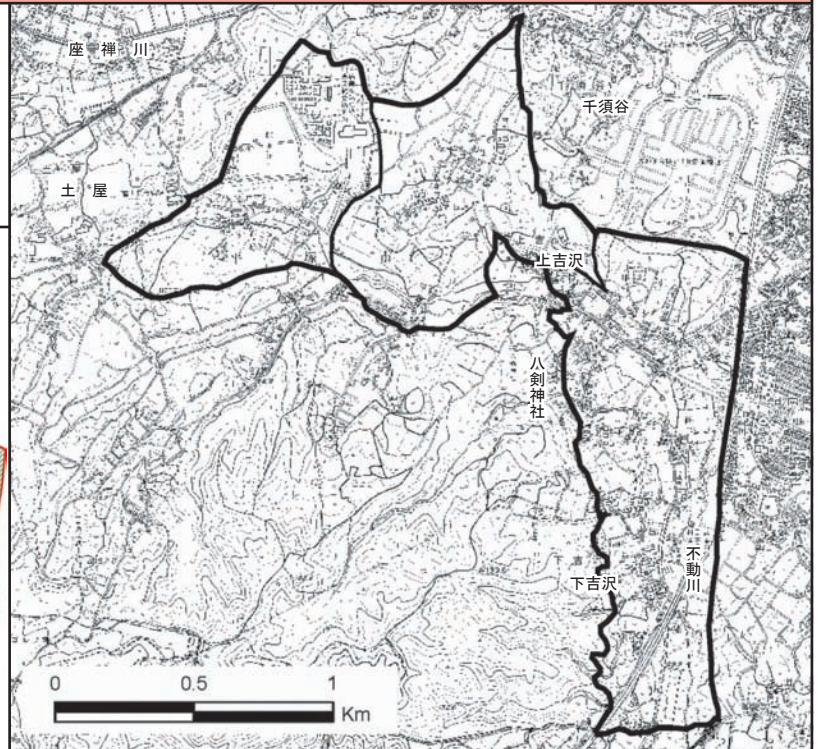
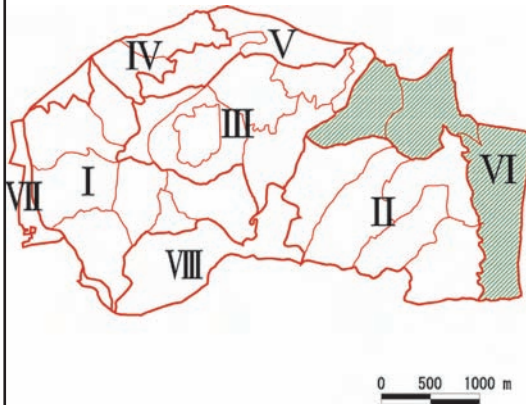


## 大地区VI 不動川中流

### 【評価】

自然	場	緑の質	生物
C	E	C	C

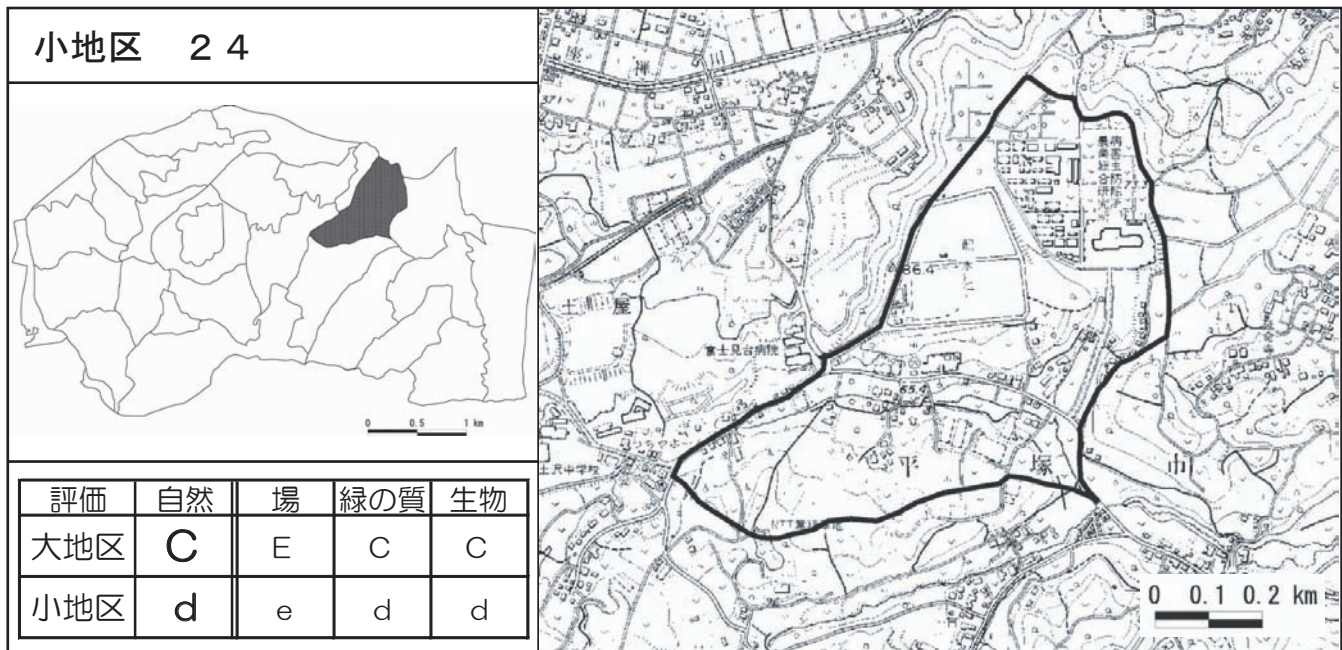
### 【地区位置】



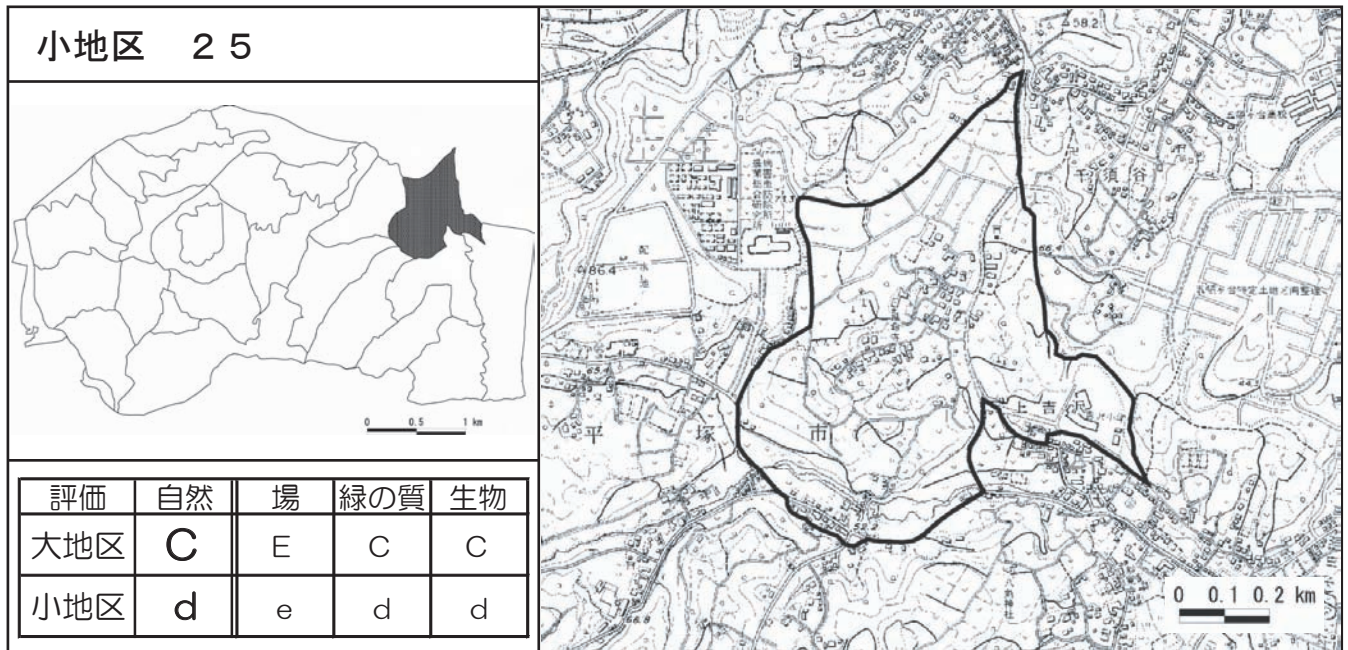
内 容	
総 評	畑地と住宅地が主体であるが、二次林が点在し、不動川が流下していることから、樹林、草地、水辺の指標種が生息、生育している。
場	市街地に近接し、畑地と住宅地が主体である。
緑の質	<p>【植物群落】 大部分を畑地が占め、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、コナラ群落（林床開放型）が帯状に分布している。ほかに、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、果樹園、ススキ群落、アズマネザサ群落などがみられる。</p> <p>【水系】 おもに、三面張りの護岸河川が存在するが、畑地沿いでは一部護岸されていない河川がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】 キンラン、エビネ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、マンリョウ、キツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 ホトトギス、コゲラ、ウグイス、メジロ、ヒバリ、イカルチドリ、コサギ、ハクセキレイ</p> <p>【両生類】 ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル</p> <p>【昆虫類】 オニヤンマ、オナガササキリ</p> <p>【魚類】 シマヨシノボリ、ドジョウ</p>



吉沢小学校付近 2004年10月11日撮影

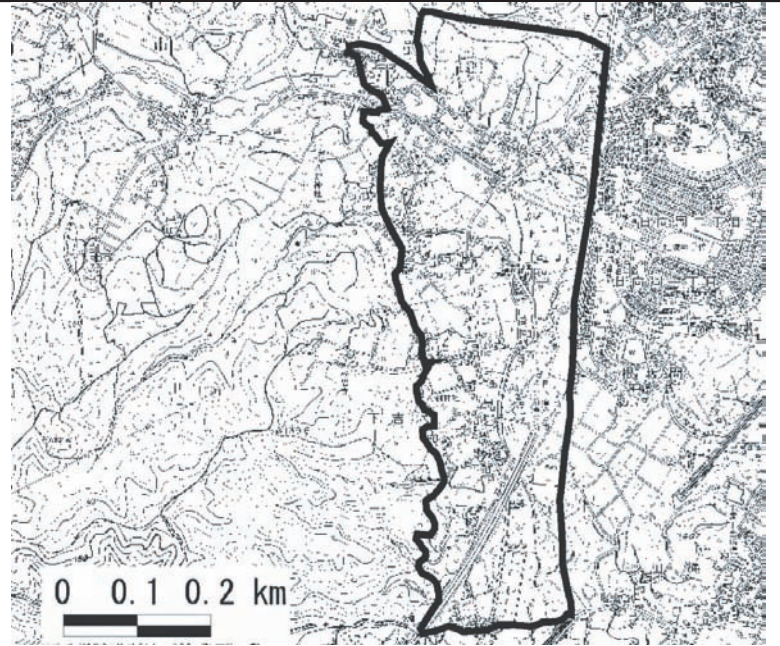
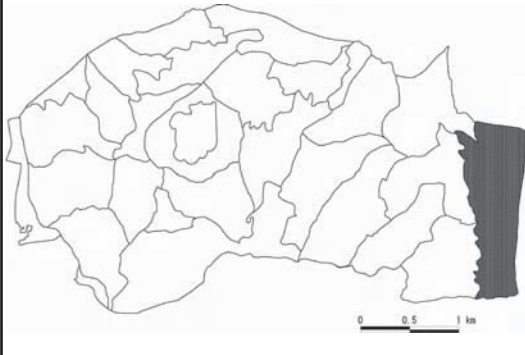


内 容	
総 評	農地と住宅地が主体である。農地に囲まれて二次林が点在しており、樹林、草地の指標種が生息、生育している。
場	農地と住宅地が主体である。
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>畑地、コナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、モウソウチク・マダケ林、果樹園、アズマネザサ群落、樹木植栽地、陽性低木群落、などが分布し、緩やかな斜面上にコナラ群落（林床開放型）がみられる。</p> <p>【水系】</p> <p>三面張りの護岸河川が一部に存在するのみである。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>キンラン、エビネ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>ウグイス、メジロ、ヒバリ、ハクセキレイ</p> <p>【昆虫類】</p> <p>オニヤンマ、オナガササキリ</p>



内 容	
総 評	農地と住宅地が主体である。農地に囲まれて二次林が点在しており、樹林、草地の指標種が生息、生育している。
場	農地と住宅地が主体である。
緑の質	<p>【植物群落】</p> <p>おもに畑地が分布し、コナラ群落（林床ササ密生型）、モウソウチク・マダケ林、果樹園、コナラ群落（林床開放型）、スギ植林などが分布する。また、コナラ群落（林床低木型）が帯状に分布する。</p> <p>小面積ながら自然植生のスタジイ群落もみられる。</p> <p>【水系】</p> <p>おもに、三面張りの護岸河川がみられる。</p>
生 物	<p>【植物】</p> <p>マンリョウ、ヤブコウジ、ヤブツバキ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】</p> <p>ホトトギス、コゲラ、ウグイス、メジロ、ヒバリ、ハクセキレイ</p> <p>【両生類】</p> <p>ヤマアカガエル</p> <p>【昆虫類】</p> <p>オニヤンマ、オナガササキリ</p>

小地区 26



評価	自然	場	緑の質	生物
大地区	C	E	C	C
小地区	c	c	c	c

内 容

総 評

畑地が主体であるが、鷹取山山麓の中核となる緑と住宅街との緩衝帯（かんしょうたい）となっている。不動川が流下し、護岸されていない区間も残されていることから、おもに水辺の指標種が生息、生育している。

場

鷹取山山麓の中核となる緑の緩衝帯（かんしょうたい）となっている。

緑の質

【植物群落】

畑地が大部分を占め、コナラ群落（林床ササ密生型）が小面積ながら分布する。ほかに、スタジイ群落、モウソウチク・マダケ林、スギ植林、コナラ群落（林床開放型）、アズマネザサ群落、果樹園、樹木植栽地、水田がみられる。

【水系】

大部分が護岸河川（三面張り）であるが、護岸されていない区間も一部残されている。

生 物

【植物】

ヤブコウジ、マンリョウ、キツネノボタン、タガラシ、カントウタンポポ、セイヨウタンポポ

【鳥類】

ヒバリ、イカルチドリ、コサギ、ハクセキレイ

【両生類】

ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル

【昆虫類】

オナガササキリ

【魚類】

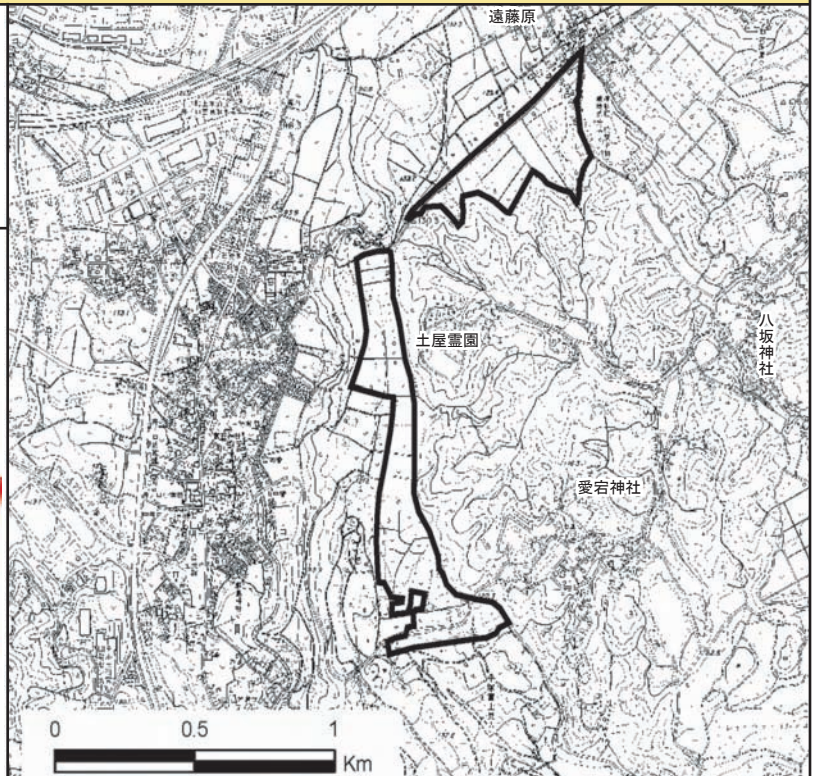
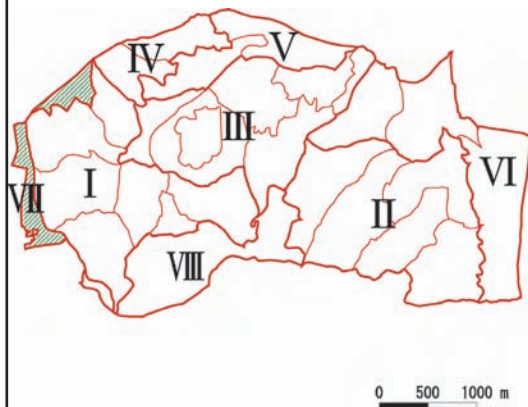
シマヨシノボリ、ドジョウ

## 大地区Ⅶ 遠藤原台地

### 【評価】

自然	場	緑の質	生物
C	C	D	D

### 【地区位置】

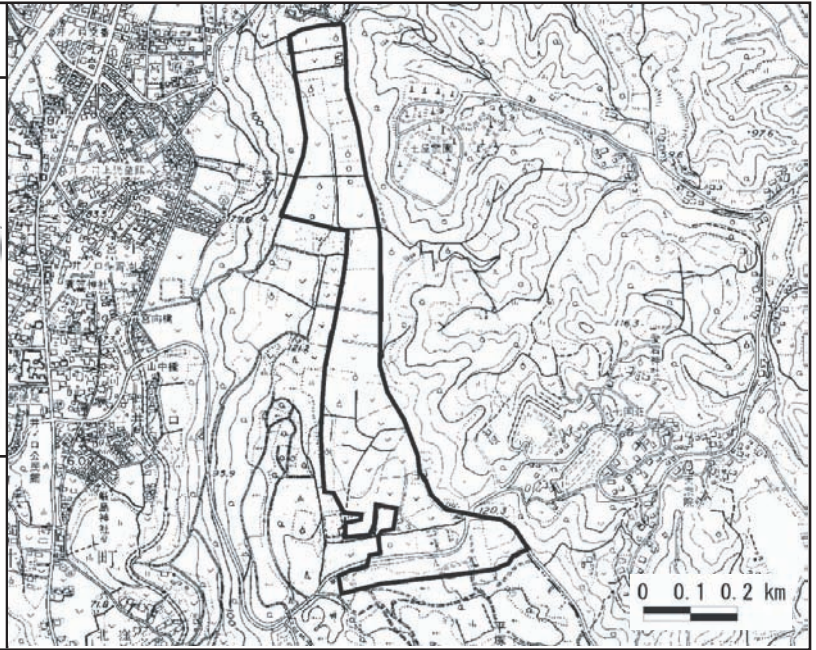
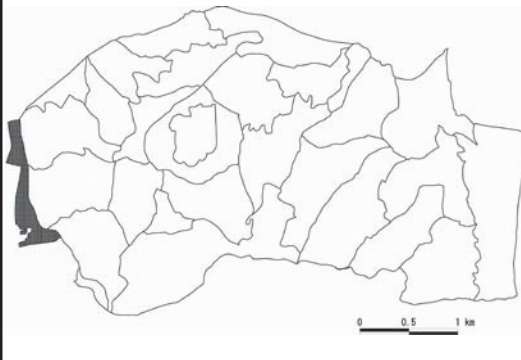


	内 容
総 評	地形の骨格となる、遠藤原台地の一角をなす。畑地が広がり、樹林が少ないため、おもに、明るい草地を好む指標種が生息している。
場	畑地として利用されている平坦面は、地域の地形の骨格となる遠藤原台地の一角をなしている。
緑の質	【植物群落】畑地を大部分が占め、果樹園が道に沿って分布する。また、コナラ群落（林床ササ密生型）が帯状に分布する。ほかに、コナラ群落（林床低木型）、スギ植林、モウソウチク・マダケ林、陽性低木群落、ススキ群落がみられる。 【水系】無し。
生 物	<p>【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 アオゲラ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、オオヨシキリ、ヒバリ、キジ、コサギ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【昆虫類】 ゴイシシジミ、オニヤンマ、オナガササキリ</p>



遠藤原より大山を望む 2004年4月7日撮影

小地区 27



評価	自然	場	緑の質	生物
大地区	C	C	D	D
小地区	c	c	d	d

内 容

総 評

地形の骨格となる遠藤原台地の一角をなしている。  
畑地が広がり樹林は少ないため、おもに、草地を好む指標種が生息、生育している。生物的には豊かとはいいがたいが、里山の自然を縁取る農地である。

場

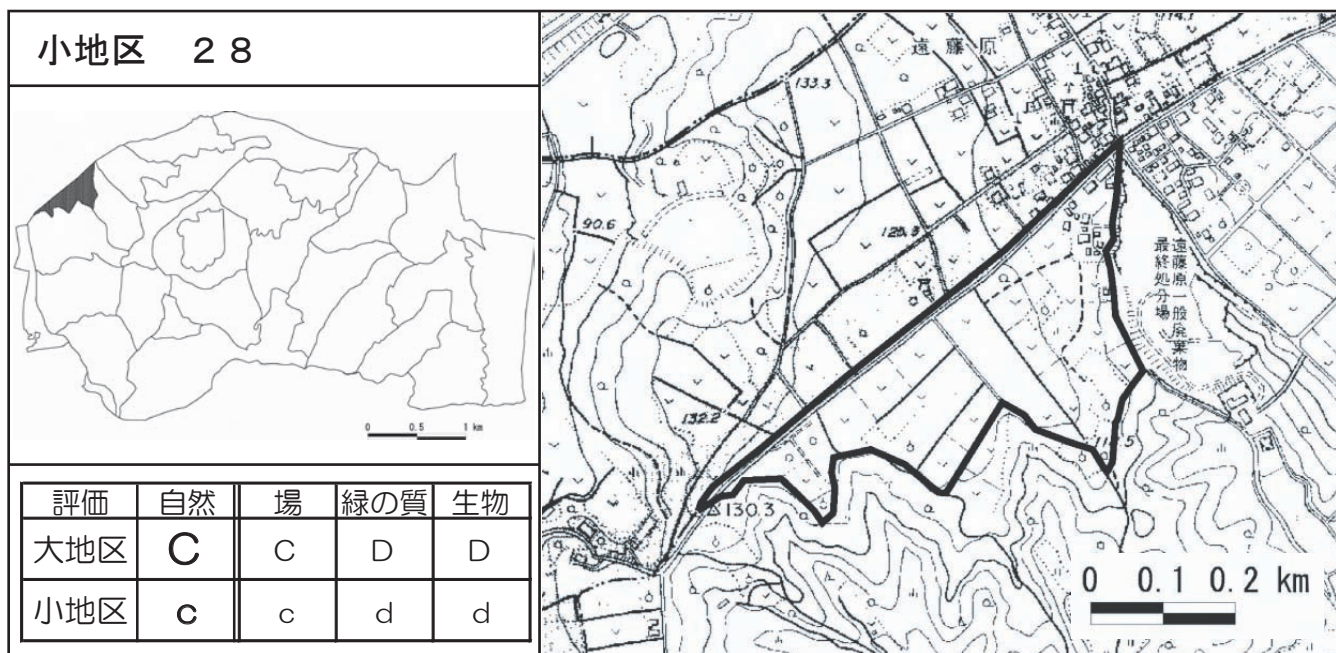
畑地利用されている平坦面は、地形の骨格となる遠藤原台地の一角をなしている。

緑の質

【植物群落】  
畑地が大部分を占め、道沿いに果樹園がみられる。ほかに、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林、ススキ群落がわずかに分布する。  
【水系】  
無し。

生 物

【植物】  
カントウタンポポ、セイヨウタンポポ  
【鳥類】  
アオゲラ、ヤマガラ、ウグイス、オオヨシキリ、ヒバリ、キジ、オオタカ、ノスリ、サシバ  
【昆虫】  
オナガササキリ



内 容	
総 評	<p>地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。 畑地が広がり樹林は少ないため、おもに草地を好む指標種が生息、生育している。 生物的には豊かとはいいがたいが、里山の自然を縁取る農地として重要である。</p>
場	<p>畑地利用されている平坦面は、地域の地形の骨格となる遠藤原台地の中核をなしている。</p>
緑の質	<p>【植物群落】 畑地が大部分を占め、その中に果樹園が多くみられる。ほかに、わずかながらコナラ群落（林床低木型）、コナラ群落（林床ササ密生型）、スギ植林などがみられる。</p> <p>【水系】 無し。</p>
生 物	<p>【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ</p> <p>【鳥類】 ヤマガラ、コゲラ、ウグイス、エナガ、ヒバリ、キジ、コサギ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ、サシバ</p> <p>【昆虫類】 ゴイシジミ、オニヤンマ、オナガササキリ</p>

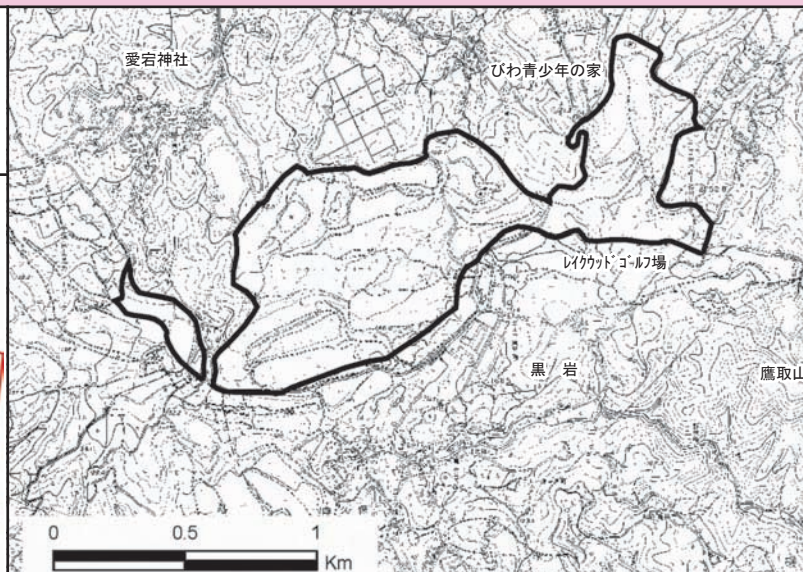
大地区Ⅷ ゴルフ場

小地区 29

【評価】

自然	場	緑の質	生物
C	D	C	D

【地区位置】



内 容

総 評

ゴルフ場であり、芝地、修景用の植栽樹木、人工池からなり、種数は少ないものの、草地と水辺の指標種が生息、生育している。人工改変地であるが、座禅川上流と鷹取山山麓の中核となる緑の間に位置し、管理の仕方によっては、将来コリドーの役割が期待できる。

場

人工改変地であるため、緑の質や生物の評価は低いが座禅川上流と鷹取山山麓をつなぐ重要な位置にある。

緑の質

【植物群落】 ゴルフ場の芝地と樹木植栽地が大部分を占め、ほかにスギ植林、畑地、コナラ群落（林床ササ密生型）、モウソウチク・マダケ林、コナラ群落（林床低木型）、ススキ群落、果樹園がみられる。  
【水系】 人工池が散在する。

生 物

【植物】 カントウタンポポ、セイヨウタンポポ  
【鳥類】 ホトトギス、ウグイス、セグロセキレイ、ハクセキレイ、オオタカ、ノスリ  
【昆虫類】 ジャコウアゲハ、オニヤンマ



ゴルフ場内の芝生と樹林 2004年6月24日撮影



ゴルフ場内の池 2004年6月24日撮影